

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。



YOUR

令和5年

一般社団法人 さいたま市手をつなぐ育成会 第91号

目標をめざして

私たちの日々の生活の中で、障害がある無しに関わらず、何を目標に、どこにあてて考えているでしょうか。

毎日の生活に追われて、目の前の小さな事に対応に、特に何事もなく通過していつている事が多いのではないかと思います。

今、何気なく通り過ぎていく事の中には、将来的にみて大きな問題を引き起こす事があるように思います。

時には立ち止まり、十年後のライフステージが少しでも心ゆたかな物になるように、考える時間を持ちたいものです。

今、世界中の老若男女を虜にしている大谷翔平さん、この偉大な若者は、私たちにそのお手本を示して、確かな実績を証明してくれています。

彼は、十代のころに、十年後、二十年後とその先までの人生設計を発表していたように、メジャーに入って世界一

になることも、その中の一つで、もうすでに達成できているとは、やはり只者ではないと思います。

しかしながら、ここまでの道程は想像を絶する物であったと思います。

計算しつくされたデータの基でのトレーニングや食事の管理等、とても簡単に真似の出来る事ではありませんが、目標を立てる事はとても大事な事だと思っていますので私たちも見習いたいものです。

自分の理想とする将来像に、少しでも近づけるように心がける余裕が持てるように、育成会としても健全な社会の構築に向けて皆様の思いを発信していきたいと思っています。

加藤 シゲヨ



総務

総会を振り返って

六月二十七日、障害者交流センターにて、第十五回定期総会が開催されました。昨年同様のハイブリット型での開催方式でしたが、会員の皆様のご協力のおかげで全ての議案が賛成多数で可決されました事、ご報告と御礼申し上げます。

総会の開催にあたり、さいたま市清水勇人市長、教育委員会特別支援教育室室長長谷場様から動画でご祝辞を頂きました。

また、さいたま市議会議長江原様、さいたま市福祉局障害福祉部長西渕様、さいたま市社会福祉協議会事務局長吉野様、埼玉県手をつなぐ育成会理事長高野様、さいたま市障害者協議会事務局長船戸様にはご臨席いただき、ご挨拶を頂戴いたしました。

総会後には、初の試みとなる会員限定の「おしゃべりサロンミニ」を開催し、交流を深めました。今後も色々な企画を行っていきますので、お気軽にご参加ください。

高橋

おつかれさまでした

この度、副会長松井田さん、理事配島さんが役員を退任します。



松井田 絹代さん
配島 和子さん

お二人は旧大宮市から合併後を通して、大宮地域の活動を支えまとめてきました。

長い間の育成会活動、本当にご苦労様でした。

長い間大変お世話になりました。ありがとうございます。

大宮市からさいたま市へと移るなかで今までと違う雰囲気、圧迫されたり、コロナ禍での会議にとまどったり、とても良い経験をさせていただきました。今後の育成会のお一層のご発展をお祈り致します。

配島 和子

令和5年度 さいたま市社会参加推進事業

「家族教室」

- テーマ 『グループホーム』
 - 講師 社会福祉法人鴻沼福祉会 常務理事 酒井 依子 氏
さいたま市岩槻区障害者生活支援センター「ささばし」
主任相談支援専門員 竹野谷 秋 氏
 - 開催日 令和5年 11月9日 (木)
 - 開催時間 午前10時～13時 予定
 - 開催場所 レイボックホール6F 集会室1
- *ハイブリットで開催予定

ありがとうございます。大宮区の中心として、長い間支えて頂きましたお二人が退任され、とても寂しいです。これまで沢山の事を教えて頂き本当にありがとうございました。

この先、不安な事もあります。先輩方が守り続けてくださった大宮地区を次の方へ、バトンを渡せる様努力いたします。お世話になりました。くれぐれも御身体にお気を付け下さい。

星野 美子

グループホームって？

「家族教室」のテーマが「グループホーム」と決まり、広報でも以前から取り上げたいと考えていましたので、現在グループホームを利用している方二名の保護者にお話を伺いました。

当時はグループホームではなく「生活ホーム」でした。「生活ホーム」は、日中通所していた作業所の有志四名で立ち上げました。有志のお一人が一軒家を提供し大家さんになりました。初めての親離れでした。A君・B君二十代前半でした。

A君はその後都合により日中は他の事業所に、夜はホームでの生活になりました。更に少し遠くのB型の施設を推薦され変わりました。現在でも自転車で通所しています。

B君も上尾にあるB型の施設に変わりました。夜はホームです。公共交通機関を利用し通所、幼い頃より乗り物が好きでしたが、残念なことにホームの大家さんが代替わりをし、ホームは返還解散しました。

ヘルパーステーション ほっと

元浦和育成会が開設した事業所です。永年障がい者の団体として活動を続けた経験を踏まえ、利用者の立場に立った心のこもった暖かいサポートを目指しております。



★居宅介護（ホームヘルプ）

入浴・排泄・食事の介護など

★同行援護

視覚障がい者の支援

★ヘルパー募集中

★行動援護

行動上著しい困難を有する知的障がい者（児）
精神障がい者の外出の介護・危険回避のための援護

★移動支援（ガイドヘルプ）

余暇活動など社会参加のための外出が安全かつ円滑に出来るよう、移動についての支援



一般社団法人 飛躍
ヘルパーステーション ほっと
さいたま市大宮区天沼町2-813
☎ 048-649-5703



『はじまるよ』

さいたま市手をつなぐ育成会では、本人と家族の余暇活動の一つとして、『どーなつ』という活動を始めました。各区の支部活動とは別に、会員はどなたでもご参加いただけます。

第一回目を、六月十一日(日)に、大宮ふれあい福祉センターにて開催いたしました。

プログラムの始めは、「編んでるシアター」でした。たくさんのおみぐるみたちが大活躍して、楽しい時間があっという間に過ぎました。



ワ〜がわい〜すこい!

休憩を挟んで、ストレッチやミッキーマウスマーチ等のダン

スをしました。リクエストのジン・ジン・ジンギスカン♪もプロジェクターで大画面にして、みんなで盛り上がりました。

ジントジント
ジンギスカン♪

そしておしまいは新聞ビリビリ。広げてもらった新聞を、シユパンッと気持ちよく手刀したり、小さくちぎったり丸めたりして遊びました。

楽しかったというみなさんのこにこ顔に、編んでるシアターの先生も、スタッフも、みんなにこにこ顔でした。

次回のどーなつは、九月を予定しています。どんな活動になるかは楽しみに。みなさんからのリクエストもお待ちしております。

A君四十六歳でした。
B君四十二歳でした。

「生活ホーム」の仲間は自宅に戻りました。

B君は、自宅生活一年を待たずに、支援センターの紹介で、グループホームの利用を始めました。

一軒家の二階、四室、四人での生活でしたが、なかなかなじめず、しばらくして他の一軒家四室四人の所に移りました。

A君も丁度一年後、支援センターの紹介でグループホームの利用を始めました。

そこにはB君がいてA君は隣の部屋に入れました。

又、昔からの知人も近くにて安心して生活できているとのことでした。土日は自宅に戻ります。

家賃他の生活費は年金内です。月々の親の援助はありません。移転したときに家具、カーテン等の費用は援助しました。

今後の心配は親の高齢化です。

A君五十歳 父八十三歳。

B君四十六歳 両親共に八十代。

原材料は、雪、雨、風、
そして、シャスタという大地の力。
人間だけでは決してつukれないものがある。



Power of Nature

ここ、シャスタの山から。

賛助会員の皆さま
ご協力ありがとうございます

浦和区

青柳 厚子

赤石 啓五

安彦 朱美

泉 富美子

竹川 和恵

小久保 孝子

堺 さき

中田 栄一郎

野中 敏子

細田 由夏

山田 優治

南区

戸田 玲子

林田 ふみ子

千葉 美恵子

事務局扱い

一般社団法人 飛躍

壽 淳子

石田 まゆ美

令和五年度もよろしく

お願いいたします。



中央区

八木 倭文子

長谷川 美紀

菅原 美津江

阿久津 佳邦

阿久津 正章

岩槻区

尾倉 紀代子

堀尾 良子

佐治木 和枝

大宮区

斉藤 日出子

見沼区

海老原 久子

☆順不動 敬称略

計報

小根山 晶子 様 (中央区)

大塚 健介 様 (緑区)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

★編集後記★

まだ梅雨明けもしていないのに
軽く三十度超えの日が続き、少し
ぐったりです。

総会も無事に終わり、本人会や
おしゃべりサロンなど活動が始ま
りました。

今年度も、皆さんに参加してい
ただけるようなテーマで家族教室
も進めています。

参加のご協力お願いいたします。

発行

一般社団法人

さいたま市手をつなぐ育成会

代表理事 加藤 シゲヨ

〒330-0801

さいたま市大宮区土手町

一三三

大宮ふれあい福祉センター内

TEL/FAX

〇四八六五四一七七六三

E-mail

sc-you@bz03.plala.or.jp

ホームページ

http://www.saitamashi-ikuseikai.org/

フェイスブック

@saitamashi-ikuseikai

インスタグラム

@ikuseikai2022

編集 広報委員会

定価 五十円 (会費を含む)

未来あんしんサポート

NEW 2022年1月、「定期支払金付プラン」が新登場 「つかえる楽しみ」と「のこせる安心」をお届けします

【知的障がい】や【自閉症】等の障がいのあるお子さまのために
「親なきあと」をサポートするご提案です

未来あんしんサポート

障がいのあるこの子が
お金の管理をできるか心配...

この子が経済的に
困らないようにしてあげたい。

自分がまだ元気なうちは、毎年うけとる
お金を使ってこの子と一緒に楽しみたい

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を
確実に未来へのこします

「未来あんしんサポート」は、(株)ジェイアイシーが
ご提案する生命保険と生命保険信託をあわせた
サービスの総称です。

お問合せや資料のご請求はこちらへ
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ
ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル
0120-580-503 通話料 無料
受付時間:月~金(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポート リーフレット」をご覧ください。●株ジェイアイシーは「個人情報保護方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、株ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2022年1月1日時点のお取り扱い内容に基づき作成しています。

[生命保険募集代理店・信託契約代理店]

株式会社ジェイアイシー
本 社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
ホームページ www.jicgroup.co.jp

[所属信託会社]

みずほ信託銀行株式会社

[生命保険引受保険会社]

第一フロンティア生命保険株式会社

MAS-A-220103

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です



特長1



代理手続き
代理告知が
可能

障がいのある方向けプラン

特長2



告知対象
疾患の緩和

障がいのある方向けプラン

特長3



成年後見
費用を補償

障がいのある方のご家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要を紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。
「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のバリエーションです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
下記お問い合わせ先(取扱代理店)に
資料請求をお待ちしております。

[お問い合わせ先取扱代理店]

ゼンチ共済株式会社
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL:03-6910-0850 FAX:03-6910-0851
URL: http://www.z-kyosai.com/
MAIL: gan@z-kyosai.com
(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

東京海上日動火災保険株式会社
公務第一東京公務課
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL:03-3515-4126(営業時間:平日9:00~17:00)

2021年3月作成
20-TC10720